

みんなで守り、育てよう勝山市の医療！
産婦人科を取り巻く状況

第4回 インタビュー



福井大学医学部 産科婦人科 教授 吉田 好雄

昨年6月に福井大学医学部産科婦人科の教授に就任された吉田好雄氏に、県内の産婦人科の状況や勝山市の産婦人科の今後についてお伺いしました。 ※周産期とは、出産を中心として妊娠後期から新生児早期までの時期を言います

■周産期医療について

周産期医療を行うためには、小児科と産婦人科の連携が不可欠です。周産期の母子が重症になると、産婦人科医・小児科医のほかに、内科医や麻酔科医等の協力がないと母子を救うことができないこともあるため、万全なサポート体制を整える必要があります。

福井大学医学部附属病院は、昨年8月から総合周産期母子医療センターに指定されており、母子の命を守るため病院内で連携して重症な患者の治療を行っています。

■福井県の現状について

県の人口は、10～15年後には60万人にまで減少すると推計されており、人口減少や高齢化により周産期医療の在り方も見直す必要があります。特に県の将来ビジョンが重要であり、それによって方向性が大きく変わり、奥越の周産期医療にも大きな影響があります。

奥越で出産分娩ができる体制をつくるためには、勝山市と大野市が連携して、福井社会保険病院（以下、社保病院）を奥越の周産期医療を担う病院とするための取り組みが必要です。

■産婦人科医を派遣して

福井大学医学部産科婦人科自体も医師が不足している中で、社保病院に週3回医師を派遣しています。特に女医は皆さんから喜ばれていると聞いています。今後の体制については未定ですが、常勤医を派遣するためにも、多くの皆さんに社保病院を利用していただきたいです。それによって医師が派遣しやすくなり、派遣された医師もそれを生きがいとして感じることでしょう。

産科と婦人科疾患での社保病院の利用が多くなることで、将来的には婦人科の簡単な手術は社保病院でできる体制にしたいと考えています。また、常勤医を派遣するためには、産婦人科医の確保が課題であり、県のバックアップも必要であると考えています。

安心して出産・子育てができることは、人口を増やすことに繋がると思うので、当科としても努力をしていきたいと思っています。

プロフェッショナル わがまちの企業

桜藤サイジング(株)

桜藤サイジング(株)は、昨年の2月から市内の空き工場を利用し、サイジング専門工場として操業しています。



プロに徹する

田中一弘社長（前列中央）とともに、仕事に励む桜藤サイジング勝山工場の皆さん＝勝山工場内にて

創業：昭和35年
所在地：鹿谷町本郷5-28
(本社は福井市)
従業員数：44名(勝山工場10名)
売上高：3億5千万円



糊付け糸を巻き上げ、発注先に出荷します



サイジング生産は、規格書に基づき忠実に作業することが条件です（写真はその工程の一部）



整経作業の様子

勝山に恐竜グッズを
広めよう！

～恐竜イラストを提供します～



県の補助事業「観光まちなみ魅力アップ事業（観光魅力づくり活動支援）」を活用して、京都精華大学マンガ学部の学生に恐竜イラストの作画を依頼して、246点のイラストを作成しました。

このイラストを用いた恐竜グッズを開発し、販売する事業者に対して、ご希望のイラストを提供します。希望される事業者は、下記の説明会にご参加ください。

【恐竜イラスト提供説明会】

とき▶2月26日(火) 午後7時～
ところ▶商工会議所 2階会議室
※勝山市内に本店がある事業者が対象です

☎ 観光政策課（市役所2階） ☎88-8107



※恐竜イラストの一例



鹿谷の恵まれた風景に包まれる勝山工場の外観

サイジングとは？
「繊維のまち」勝山の皆さんは、布が緯糸と経糸でできているのはご存じのとおり。サイジングとは、「その糸に糊剤をつけて乾燥してビームに巻き取る」作業工程のことです。

経糸になぜ糊をつけるの？
機屋さんでは、サイジング処理を施して織機に仕掛ける経糸ビームが必要です。このため、経糸にサイジングをすることは、大変重要な工程なのです。

※サイジング工程には、整経機や糊付け機、巻き返し機などの設備が必要なため、大企業を除く機屋さんには、一般的にサイジング工程を専門の会社に外注します

なぜ、勝山に進出？

鹿谷地区は、山と山に囲まれたのんびりした地域であり、仕事をすることで最高の環境です。この環境を守り、地域の発展に少しでも貢献できたらと思っています。

これからも、地域の皆様との交流をできるだけ図り、仲

良くやっていくことに全力を尽くします。（田中社長より）
市の企業誘致担当者は、市内の空き工場等の情報収集・提供も含め、県内外の企業へ誘致活動を進めています。
その際に、福井市内にある企業の社長から、桜藤サイジング(株)が空き工場を探していること紹介を受け、同社と面談を行いました。

田中社長は、勝山の景観の良さに感動され、空き工場等活用助成金制度も決め手となり、進出を決断されました。
勝山市は、市民と共に自然や歴史、伝統文化を未来に継承するまちづくりを進めており、この政策に理解のある企業の進出を歓迎しています。

☎ 商工振興課（市役所2階）
☎88-8105